

## 地域福祉支援計画の検討にあたっての「キーワード」

(※審議会における意見を参考にしながら作成)

### 地域格差

「地域格差をどう捉えるか」

- － 人口の増加している地域と減少している地域で課題は異なる

「地域福祉はより創意工夫を発揮できる分野」

「地域福祉の中から制度や公的サービスを作っていくという姿勢」

### 地域力の向上

「地域力は、地域への愛着度と地域への参加の度合」

- － 参加の形態や段階もいろいろ（祭り・掃除・挨拶からサロン・見守りまで）

「自治会、町内会レベルのマニュアルやモデルづくり。アイデアレベルのもの」

- － 協働、コラボを丁寧に行わないと動いてもらえない時代

「多様な価値観を認め合う福祉風土づくり」

- － 障害者差別解消法は、価値観の違いを認め合うための分かりやすいツール
- － 学校、家庭、職場、地域における福祉教育の構造的組立て

「人としての尊厳」

- － 人権に関する教育の充実

「自治会の再構築も大事だが、異なる要素も必要」

- － 地縁（自治会）によるコミュニティだけでは課題を解決できない時代
- － 目的型住民組織

### 地域づくり

「地域住民によるまちづくり」

- － 自分たちのまちを自分たちで作っていこうという意識
- － 資格を持ちながら家庭内にいる人材など幅広い多様な主体の参加
- － 民生委員、社協、自治会などの連携によるネットワークづくり
- － 丁寧な人材養成が必要

### 県による地域福祉『支援』計画

「生活困窮者や認知症高齢者の問題は、地域全体・家庭全体の問題」

- － 県として積極的に力を入れるべきポイント

「市町がやるべきことと県がやるべきこと、役割が異なる」

- － 市町間の情報共有の支援と、広域的・専門的なニーズの把握
- － 医療も含めた地域福祉の構築